

新型コロナウイルス感染重点対策の終息についてのお知らせ

(第12報)

第11報以降の経過と対応についてお知らせいたします。

《概要・経過》

7月19日 特養施設1階フロアについては、7月16、17日の検査結果により全員の陰性が確認され、その後の経過観察を経て、札幌市保健所との確認のうえ、新型コロナウイルス感染症の重点対策を解除いたしました。

今回、特別養護老人ホームかりぷ・あつべつで発生しました新型コロナウイルス感染症クラスターにつきましては、皆さまに大変なご迷惑とご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。

お亡くなりになりました入居様、利用者様、そして、そのご家族の皆様には心よりお悔やみ申し上げ、ご冥福をお祈りいたします。

7月19日保健所との協議にて、感染リスクがなくなった「クラスター収束」の判断がされたことを受け、法人といたしまして特別養護老人ホームかりぷ・あつべつのクラスター終息に至りましたことをご報告いたします。

クラスター発生前から感染対策や健康観察を行ってきましたが、市中感染の拡大による医療のひっ迫など必要な方の入院ができない状況もあり、多くの方に感染が広がったこと、たいへん申し訳なく思っております。感染対策の難しさを痛感致しました。

今後は、この間の学びを教訓にし、入居者様、利用者様に安心・安全な生活の場を提供できるよう職員の安全を守りながらより一層の感染予防対策に努めてまいります。

また、この間多くの方からご支援をいただきました。懸命な治療をしてくださった搬送先の病院の方々、物心ともに支援してくださった皆さま、励ましの声をかけてくださった沢山の皆さま本当にありがとうございました。中でも入居様のご家族の皆様からかけて頂いた励ましの声は大きな支えとなりました。この場をお借りしまして心より感謝申し上げます。

引き続き、皆さまのご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。

2021年7月20日

社会福祉法人協立いつくしみの会
理事長 石山 建治

【新型コロナウイルス感染症に関する問い合わせ先】
特別養護老人ホームかりぷ・あつべつ 施設長 柏原 伸広
011-896-1165